

耐震診断により耐震改修事業が必要とされた学校

学校名	棟用途	棟		建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	区分	第2次診断		改修		改修後	
		番号	枝番						年度	Is値	年度	Is値	年度	Is値
菊陽中部小学校	特別教室棟	10	1	昭和55年3月	RC	3	985	旧基準	16	0.28				
	管理特別教室棟	10	2	昭和56年1月	RC	3	1,099	旧基準	16	0.28			(0.59単独棟結果)	
	普通教室棟	11	1	昭和55年3月	RC	3	702	旧基準	16	0.28				
	普通教室棟	11	2	昭和56年3月	RC	3	468	旧基準	16	0.28				
	渡り廊下棟	12		昭和55年3月	RC	3	127	旧基準	16	0.28			(0.33単独棟結果)	
	渡り廊下棟	13		昭和55年3月	RC	3	125	旧基準	16	0.28			(0.33単独棟結果)	
	渡り廊下棟	17		昭和56年1月	RC	3	125	旧基準	16	0.28			(0.33単独棟結果)	
	多目的ホール教室棟	23		平成11年3月	RC	3	566	新基準	—	—	—	—		
	屋内運動場棟	19		昭和57年1月	S	1	622	新基準	—	—	—	—		
菊陽北小学校	普通教室棟	14		昭和55年3月	RC	1	840	旧基準	17	0.92	—	—		
	特別教室棟	15	1	昭和55年3月	RC	3	958	旧基準			改修済	20	0.74	
	管理特別教室棟	16		昭和56年1月	RC	3	792	旧基準			改修済	20	0.72	
	普通教室棟	17		昭和56年1月	RC	1	391	旧基準	17	1.01	—	—		
	屋内運動場棟	19		昭和58年2月	RC	1	620	新基準	—	—	—	—		
武蔵ヶ丘小学校	普通教室棟	1	1	昭和49年4月	RC	3	1,336	旧基準			改修済	17	0.73	
	普通教室棟	1	2	昭和54年3月	RC	3	304	旧基準			改修済	17	0.73	
	特別教室棟	3		昭和51年3月	RC	2	576	旧基準	15	0.72	—	—		
	普通教室棟	5	1	昭和52年3月	RC	2	972	旧基準			改修済	18	0.84	
	普通教室棟	5	2	昭和57年1月	RC	2	43	旧基準			改修済	18	0.84	
	管理教室棟	9		昭和54年3月	RC	3	1,983	旧基準			改修済	19	0.71	
	渡り廊下棟	11		昭和54年3月	RC	2	31	旧基準	16	1.21	—	—		
	渡り廊下棟	12		昭和54年3月	RC	2	50	旧基準	16	1.09	—	—		
	渡り廊下棟	20		平成19年3月	S	2	49	新基準	—	—	—	—		
	屋内運動場棟	6		昭和53年3月	RC	2	1,028	旧基準	15	0.76	—	—		
菊陽中学校	管理特別教室棟	1		昭和45年3月	RC	3	1,999	旧基準	17	0.38				
	普通教室棟	2		昭和44年3月	RC	3	1,805	旧基準	17	0.32				
	昇降口棟	4		昭和45年3月	RC	2	218	旧基準	17	0.60				
	特別教室棟	21		昭和63年1月	RC	2	503	新基準	—	—	—	—		
	屋内運動場棟	23	1	平成1年3月	RC	1	1,350	新基準	—	—	—	—		
武蔵ヶ丘中学校	特別普通教室棟	1	1	昭和56年3月	RC	4	2,273	旧基準	17	0.32				
	特別普通教室棟	1	2	平成2年3月	RC	3	242	新基準	—	—	—	—		
	特別普通教室棟	3	1	昭和56年6月	RC	3	859	旧基準	17	0.58				
	特別普通教室棟	3	2	平成2年3月	RC	3	539	新基準	—	—	—	—		
	管理棟	12		昭和61年3月	RC	3	483	新基準	—	—	—	—		
	特別普通教室棟	13		昭和61年3月	RC	4	1,779	新基準	—	—	—	—		
	特別教室棟	14		平成2年3月	RC	2	473	新基準	—	—	—	—		
	屋内運動場棟	4	1	昭和56年12月	S	2	780	新基準	—	—	—	—		
	屋内運動場棟	4	2	昭和63年1月	S	2	627	新基準	—	—	—	—		

菊陽町立小中学校の耐震化の状況

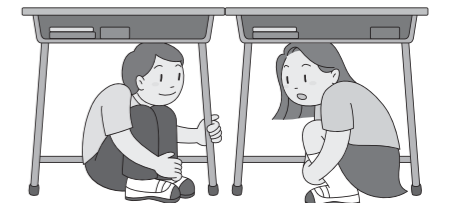
菊陽町教育委員会では、平成14年度から小中学校の耐震診断を実施し、その結果などに基づき、校舎の耐震化を進め、安全な教育環境を整備してきました。

今回、菊陽中部小学校の耐震建て替え計画の経過などを含めて、各小中学校の耐震診断結果や耐震対策の状況についてお知らせします。

説明

- 小中学校8校のうち、新耐震基準により建設された次の学校は、全ての校舎に耐震性能があり、耐震改修事業の必要はありません。
菊陽南小学校、菊陽西小学校、武蔵ヶ丘北小学校の3校
- 旧耐震基準により建設された校舎がある学校は次の5校ですが、既に2校は耐震改修事業が完了しました。5校の校舎の状況は、次のとおりです。
詳しい状況は、左の「耐震診断により耐震改修事業が必要とされた学校」をご覧ください。

武蔵ヶ丘小学校 改修済み	菊陽北小学校 改修済み	武蔵ヶ丘中学校 平成21年度改修工事予定
菊陽中学校 平成22年度改修工事予定	菊陽中部小学校 一日も早い校舎建て替えを目指します。	



用語の解説

- 「構造」欄に「RC」とあるのは鉄筋コンクリート造を、「S」とあるのは鉄骨造をいいます。
- 「区分」欄に「旧基準」とあるのは新耐震基準施行(昭和56年)以前に建築されたものを、「新基準」とあるのは新耐震基準施行(昭和56年)後に建築されたものをいいます。
- (1) 「新基準」と表示のあるものは、耐震性がありますので、「区分」欄から右の各欄は、すべて「—」となっています。
(2) 「旧基準」と表示のあるもののうち、改修済みのものについては、「改修済」と記載した上で、「改修年度」及び「改修後のIs値」をそれぞれの欄に掲げてあります。
(3) 「旧基準」と表示のあるもののうち、未改修のものについては、「第2次診断」が実施されていますので、実施年度とIs値を掲げてあります。
- 「第2次診断」は、個別の建物の耐震性能を詳細に評価する方法です。
- 「Is値(構造耐震指標)」は、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。

Is値の指標	Is < 0.3	地震に対して倒壊・崩壊の危険性が高い
	0.3 ≤ Is < 0.6	地震に対して倒壊・崩壊の危険性がある
	0.6 ≤ Is	地震に対して倒壊・崩壊の危険性が低い

国土交通省告示などの基準では、第2次診断により算定したIs値が0.6以上の場合は、耐震性がある建物と判断されますが、文部科学省では、改修後のIs値が0.7以上となるよう指導しています。

狂犬病予防注射と登録のお知らせ



登録および狂犬病の予防注射 日程表

月日	受付時間	場所
5月12日(火)	9:30~10:30	中央公民館
	13:30~14:15	津久礼農協倉庫
	14:45~15:15	緑ヶ丘公園 (緑ヶ丘公民館西側)
5月13日(水)	9:30~10:00	花立公民館
	10:15~10:45	向陽台公園
	11:00~11:30	西部町民センター
	13:30~14:00	武蔵ヶ丘 コミュニティセンター
5月14日(木)	14:15~14:45	白鈴公民館
	9:00~9:30	堀川公民館
	9:45~10:15	沖野公民館
	13:30~14:30	三里木町民センター
	15:00~15:30	青葉台公民館
5月15日(金)	15:45~16:15	東ヶ丘公民館
	9:00~9:30	農協車両センター (原水駅前)
	10:00~10:30	中尾公民館
	13:30~14:00	柳水公民館
5月18日(月)	14:30~15:00	古閑原公民館
	9:00~9:30	井口農協倉庫
	10:00~10:30	道明公民館
	13:30~14:00	馬場楠消防倉庫前
5月19日(火)	14:30~15:00	東部町民センター
	9:00~11:00	中央公民館

ご存じですか 「狂犬病」

狂犬病は、人を含めた哺乳類全てに感染するばかりでなく、治療方法が確立されていないので、人が感染し発症するとほぼ100%が死亡するという大変危険な動物由来感染症です。

日本では、昭和32年より狂犬病の発生は確認されていませんが、近隣諸国ではいまだ被害が確認されています。

また、最近のペットブームにより外国からさまざまな動物が輸入されており、不法に輸入された動物が狂犬病ウイルスを持っている場合などもあり、いつ日本で発生してもおかしくない状況にあります。

そのため、このウイルスに一番感染しやすい犬の動向をつかむため、犬の登録と狂犬病予防注射の接種が法律で義務付けられています。

大切な家族を守るためにも、必ず登録と予防注射を受けさせましょう。

注射は、生後91日以上の犬が対象になります

屋内で飼っている犬にも接種が義務付けられています。



飼い犬が死亡したり、所有者が変更になったりした場合は、環境生活課で手続きを行ってください。



町外へ転出した場合は、転出先の市町村で飼い犬の住所変更の届け出を行ってください。



- 料金**
- 登録料(鑑札代含む)……3,000円
 - 予防注射代……………2,500円
 - 注射済票交付手数料……………500円

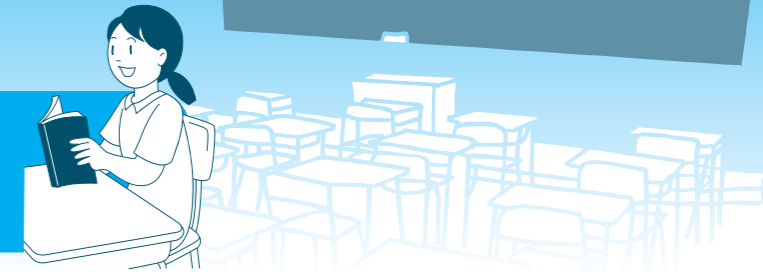
※登録は生涯1回 注射は年1回です。

問い合わせ

環境生活課 環境係

☎232-2114

菊陽中部小学校耐震建て替え計画について



中部小学校の耐震診断結果に基づき、また、迷路のような校舎など機能上の諸問題に対応できるよう校舎の全面改築を現在地で行うこととし、関連予算を平成21年3月議会に提案しましたところ、「敷地が狭く移転すべきだ、一部5階建ての校舎は高すぎる、保護者や議会の意向を十分聴いてない」などの理由により、議会において修正動議が提案、可決されました。(設計費 1億164万円を調査費500万円へ修正)

現在地での建て替えを議会に提案したのは、今回の計画において、最優先すべきことは子どもの命を守ることであり、時間を要する対応は避けるべきであること。次に現在地の中部小学校で機能上の諸問題を解決しながら、財政状況も勘案する必要があるからです。

敷地は確かに広くはありませんが、体育の授業などは支障なく通常の学習活動が行われております。また、一般的な5階の建物と異なり、段差を活用し1階と3階に地上への出入り口を設ける構想で、階層を減らすことも可能としておりました。中部小学校保護者、教職員の皆さまを対象に、限られた時間ではありましたが、説明会を開催し、ご理解を求めました。

私どもの説明不足もありましたが、菊陽町教育委員会としましては、子どもたちに安全で安心できる校舎を、1日も早く提供できるよう今後も鋭意努力して参ります。

学校耐震化に関する問い合わせ

学務課

☎232-4918

4月号掲載の予算(案)が一部変更になりました

平成21年度菊陽町一般会計予算(案)が議会で一部修正のうえ可決されました。これにより、4月号に掲載の「予算(案)」から変更となった内容についてお知らせします。

議会による一般会計予算(案)の修正内容

- 一般会計の歳入歳出予算の総額を9,663万8千円減額し、101億747万6千円に修正。
- 歳入のうち、繰入金(基金繰入金)を9,663万8千円減額し、6億4,751万2千円に修正。
- 歳出のうち、教育費(小学校費)を9,663万8千円減額し、3億3,203万5千円に修正。

4月号掲載記事のおもな変更点

掲載ページ	項目	変更前	変更後
2ページ	予算総額	171億2,245万7千円	170億2,581万9千円
	一般会計予算総額	102億411万4千円	101億747万6千円
	《歳入》円グラフ		
	自主財源	72億1,148万7千円(70.7%)	71億1,484万9千円(70.4%)
	うち町税	56億3,099万4千円(55.2%)	56億3,099万4千円(55.7%)
	依存財源	29億9,262万7千円(29.3%)	29億9,262万7千円(29.6%)
3ページ	繰入金、繰越金など	9億3,309万1千円(9.1%)	8億3,645万3千円(8.3%)
	《歳出》		
	〔性質別経費〕円グラフ		
	義務的経費	38億4,759万円(37.7%)	38億4,759万円(38.1%)
	投資的経費	17億3,923万1千円(17.0%)	16億4,259万3千円(16.3%)
	その他の経費	46億1,729万3千円(45.2%)	46億1,729万3千円(45.7%)
5ページ	普通建設事業費など	17億3,923万1千円(17.0%)	16億4,259万3千円(16.3%)
	〔目的別経費〕棒グラフ		
	教育費	10億8,652万1千円(10.6%)	9億8,988万3千円(9.8%)
5ページ	《平成21年度の主な事業》		
	○教育費	菊陽中部小学校建設工事設計 1億164万円	菊陽中部小学校建設に係る調査委託料 500万円

予算に関する問い合わせ

財政課 財政係

☎232-2111